

第189回 全経簿記検定試験 上級 一工業簿記一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題 1 [丸数字は予想配点、合計 74 点]

問 1

補助部門費の予定配賦率 [④ 280] 円/単位

補助部門費配賦額

第 1 部門 [④ 79,800] 円

第 2 部門 [④ 67,200] 円

第 3 部門 [④ 63,000] 円

問 2

	予定配賦率	仕掛品への配賦額
第 1 部門	[② 2,579] 円/h	[② 5,158,000] 円
第 2 部門	[② 2,299] 円/h	[② 3,632,420] 円
第 3 部門	[② 2,469] 円/h	[② 3,950,400] 円

問 3

補助部門の配賦差異 [④△ 6,360] 円

第 1 部門配賦差異 [④ 69,000] 円

変動費予算差異 [④△111,000] 円 固定費予算差異 [△ 4,000] 円

操業度差異 [④ 184,000] 円

問 4

加工時間 1 時間当たりサービス提供量 [④ 0.15] 単位/h

補助部門における追加的なサービス提供量 [④ 18] 単位

問 5

製造部門が過剰消費したサービスを示すのは、実際補助部門サービス提供量であるため、この割合にもとづいて実際配賦⑥を行えばよい。

第 1 製造部門費 [④ 5,091,400] 円

計算過程 ④

$$\textcircled{1} \frac{228,960 \text{ 円}}{300 \text{ 単位} + 243 \text{ 単位} + 252 \text{ 単位}} = @288 \text{ 円 (実際配賦率)}$$

$$\textcircled{2} 1,505,000 \text{ 円} + 3,500,000 \text{ 円} + @288 \text{ 円} \times 300 \text{ 単位} = 5,091,400 \text{ 円}$$

問 6

予定価格等が不適当なために比較的多額の原価差異が生じる場合は、当年度の売上原価と期末棚卸資産に配賦④する。ただし、異常な状態により発生したものは特別損失④とする。

問題 2 [丸数字は予想配点、合計 26 点]

問 1

	月末仕掛品原価	当月完成品原価
直接材料費	[④ 435,600] 円	[3,408,600] 円
加工費	[535,920] 円	[④ 5,431,500] 円
合計	[④ 971,520] 円	[④ 8,840,100] 円

問 2

借 方	金 額	貸 方	金 額
副 産 物	320,000	仕 掛 品	320,000 ⑥

問 3

評価上の差額 [④ 8,555] 円

※別解：2,541 円（減損費を副産物にも負担させる場合）